

FDA 食品セキュリティ予防措置ガイドライン“食品製造業、加工業および輸送業”編に示されたチェック項目		技術的チェック可能性	現場での受容性 ¹⁾	人為的な食品汚染防止/被害最小化の効果の大きさ	絞り込み結果/留意事項等	
	9) 人為的な食品汚染について顧客・社会とコミュニケーションを実施しているか（例：人為的な食品汚染に関する対策実施状況の開示、等）	○	△	○	条件付採用（現状では現場の負担が大きいため、今後世界的なテロ等発生状況を鑑みて必要と判断された場合に実施）	
監督	10) 人為的な食品汚染を行わないよう、従事者に対する監督を実施しているか	○	○	○	採用	
	11) 人為的な食品汚染行為に脆弱な箇所について、その安全性を日常的にチェックしているか	○	○	○	採用	
回収戦略	12) 回収された製品に対する責任者および代行責任者を設置しているか	○	○	○	採用	
	13) 回収された製品の適切な取扱いと廃棄を実施しているか	○	○	○	採用	
	14) 顧客（直接の取引先）の連絡先、住所、電話番号リストの有無	○	○	○	採用	
不審行動の調査	15) テロ行為等に関する兆候・情報の収集を行なっているか	○	○	○	採用	
	16) テロ行為等に関する兆候・情報を警察や公衆衛生当局へ通報しているか	○	△	○	条件付採用（世界的なテロ等発生状況を鑑みて必要と判断された場合に実施）	
評価プログラム	17) 過去における食品安全を脅かす事故、テロ・犯罪行為等から得られた教訓を、現場での安全対策に反映しているか	○	○	○	採用	
	人為的な食品汚染に対する安全計画のPDCAサイクルの有無	—	—	—	不採用（項目 17）に包含）	
	18) 全ての施設・設備において人為的な食品汚染に対する危険性検査を実施しているか	○	△	○	条件付採用（公的機関による評価体制・手法等の確立後に実施）	
	19) 警備保障会社の業務内容の検証を実施しているか	○	○	○	採用	
人的要素（従業員）	スクリーニング（雇用前、雇用時、	20) 従事者に対する身元確認を実施しているか	○	△	○	採用（但し主義・思想まで調査することは困難）

FDA 食品セキュリティ予防措置ガイドライン“食品製造業、加工業および輸送業”編に示されたチェック項目		技術的チェック可能性	現場での受容性 ¹⁾	人為的な食品汚染防止/被害最小化の効果の大きさ	絞り込み結果/留意事項等
雇用後)	21) 職位に応じた施設・設備のアクセスレベルを設定しているか	○	△	○	条件付採用(現状では不都合が多いが、今後世界的なテロ等発生状況を鑑みて必要と判断された場合に実施)
日常業務の割り当て	22) 敷地内に存在する者の所在を把握しているか	○	○	○	採用
	日常業務の割り当て情報の定期的アップデート	—	—	—	不採用(項目 22)に包含)
識別	23) 従事者の特性に応じた明確な識別・認識システムを構築しているか(制服や名札、ID バッジ、エリアへのアクセス権限によるカラーコード等)	○	○	○	採用
	24) 従業員の退職時等に制服や名札、ID バッジを回収しているか	○	○	○	採用
アクセス制限	25) 施設の全てのエリアに無制限にアクセスできる従事者を認識しているか	○	○	○	採用
	全ての従業員のアクセスレベルに関する定期的な見直し	—	—	—	不採用(別項目に包含)
	26) 職能・時間に応じたアクセス制限を設定しているか	○	○	○	採用
	27) 暗証番号の変更や鍵の取替えを定期的に行なっているか	○	○	○	採用
	28) 従業員の退職時等に鍵(キーカード)を回収しているか	○	○	○	採用
個人所有物	29) 会社へ持ち込む私物を制限しているか	○	○	○	採用
	30) 医薬品の会社への持ち込みを制限しているか	○	○	○	採用
	31) 私物の持ち込みエリアを制限しているか	○	○	○	採用
	32) ロッカー、バッグ、荷物、乗用車の検査を実施しているか	○	△	○	条件付採用(今後世界的なテロ等発生状況を鑑みて必要と判断された場合に実施)
食品セキュリティの手続きに関する訓練	33) 職員訓練プログラムに、人為的な食品汚染行為等およびその脅威に対する内容が含まれているか	○	○	○	採用
	34) 人為的な食品汚染に対する対抗措置の重要性に関する定期的な意識喚起が行なわれているか	○	○	○	採用
	従業員のサポートを促進	—	—	—	不採用(内容が曖昧なため)

FDA 食品セキュリティ予防措置ガイドライン“食品製造業、加工業および輸送業”編に示されたチェック項目			技術的チェック可能性	現場での受容性 ¹¹	人為的な食品汚染防止/被害最小化の効果の大きさ	絞り込み結果/留意事項等
	異常行動	35) 従業員の異常行動*や不審行動を監視しているか(*明確な目的なく、シフト終了後も異常に遅くまで残留、異常に早い出社、ファイルや情報、職域外の施設エリアへのアクセス、施設からの資料の持ち出し、機密的事項の質問、勤務時にカメラ(カメラ機能付携帯電話)を携帯など)	○	○	○	採用
	従業員の健康	36) 従業員の異常な健康状態や欠勤について、調査・対応しているか	○	○	○	採用
人的要素 (部外者)	訪問者(業者も含む)	37) 疑わしい、不適切なあるいは通常でない物品や行動がないか、車両、荷物、靴の検査を実施しているか	○	○	○	採用
		38) 社員の同行が義務付けられているか	○	○	○	採用
		39) 訪問理由を確認しているか	○	○	○	採用
		40) 身分証明の確認を実施しているか	○	○	○	採用
		41) 食品取扱い/保管エリア/ロッカールームへのアクセスを制限しているか	○	○	○	採用
		ロッカールームへのアクセスの制限	—	—	—	不採用(項目 41)に包含)
施設管理	物理的セキュリティ	42) フェンス等による敷地へのアクセス制御を行なっているか	○	○	○	採用
		43) ドア、窓、屋根口/ハッチ、通気口、換気システム、ユーティリティルーム、製氷・貯蔵室、屋根裏、トレーラー、タンクローリー、タンクの安全を確認しているか	○	○	○	採用
		44) 施設非稼働時の安全確認を行なっているか	○	○	○	採用
		45) 立入禁止区域への入口の安全チェックを行なっているか	○	○	○	採用
		不使用時の荷揚げ設備のセキュリティ確保および使用前の設備の検査	—	—	—	不採用(項目 44)に包含)
		46) 全ての鍵を会社が管理しているか	○	○	○	採用
		47) 敷地における警備員の巡回やビデオ監視を行なっているか	○	○	○	採用
		48) 汚染物質を一時的に隠すことができる場所、死角・暗がりになる場所等の洗い出し・安全確認を行なっているか	○	○	○	採用
		暗がりになる場所の洗い出し・安全確認の有無	—	—	—	不採用(項目 48)に包含)
		49) 敷地での駐車許可証、アクセスキー、特定のエリアや時間の通行許可証の発行などを行なっているか	○	○	△	採用
		50) 食品の保管・加工エリア・供給施設と駐車場を隔離しているか	○	○	△	採用
危険物、有毒	51) 研究所へのアクセスを制限しているか	○	○	△	採用	

FDA 食品セキュリティ予防措置ガイドライン“食品製造業、加工業および輸送業”編に示されたチェック項目		技術的チェック可能性	現場での受容性 ¹¹	人為的な食品汚染防止/被害最小化の効果の大きさ	絞り込み結果/留意事項等	
物質等の保管と使用の安全性確保	52) 研究材料の保管を研究所内に制限しているか	○	○	○	採用	
	53) 試薬や微生物、薬物、毒素のポジティブコントロール等、危険な材料へのアクセスを制限しているか	○	○	○	採用	
	54) ポジティブコントロールの管理責任者を設置しているか	○	○	○	採用	
	敷地内にあるべき試薬やポジティブコントロールを把握し、常に監視しているか	—	—	—	不採用（別項目で把握可能）	
	55) 試薬の紛失等に関する事態の調査・通報の体制を構築しているか	○	○	○	採用	
	56) 不要な試薬を安全な方策で廃棄しているか	○	○	○	採用	
	57) 有毒物質等をメンテナンス用や販売用の在庫に限定しているか（不要な有毒物質等を排除しているか）	○	○	○	採用	
	58) 有毒物質等を、食品の取扱いエリアや保管エリアから離れた場所に保管しているか	○	○	○	採用	
	59) 有毒物質等の保管エリアへのアクセスを制限しているか	○	○	○	採用	
	60) 有毒物質等に適切にラベルが貼付されていることを確認しているか	○	○	○	採用	
	61) 殺虫剤を安全に管理しているか	○	○	○	採用	
	62) 敷地内にある有毒物質等の所在を把握、常に監視しているか	○	○	○	採用	
	63) 在庫の紛失やその他事態の調査・通報体制を構築しているか	○	○	○	採用	
経営・運営	納入資材およびオペレーション	64) 全ての製品の調達先の信頼性を確保しているか（例：長年既知の業者である/適切な免許や許可を受けた製造業者・包装業者である、等）	○	○	○	採用
		65) 供給業者、運送業者等が、適切な食品セキュリティ措置を講じていることを確認しているか	○	○	○	採用
		66) 受領前に、納入資材のラベルや包装の形態を確認しているか否か	○	○	○	採用
		67) 鍵つき、あるいは封印可能な車両/コンテナで納入してもらっているか	○	△	○	条件付採用（現状では現場の負担が大きいため、今後世界的なテロ等発生状況を鑑みて必要と判断された場合に実施）
		68) 積荷の位置が常時確認できるようになっているか	○	○	△	採用
		69) 配送スケジュールが確立されているか	○	○	△	採用

FDA 食品セキュリティ予防措置ガイドライン“食品製造業、加工業および輸送業”編に示されたチェック項目		技術的チェック可能性	現場での受容性 ¹⁾	人為的な食品汚染防止/被害最小化の効果の大きさ	絞り込み結果/留意事項等
	70) 納入資材の積み下ろしを監視しているか	○	△	○	条件付採用(現状では現場の負担が大きいため、今後世界的なテロ等発生状況を鑑みて必要と判断された場合に実施)
	71) 納入製品・数量と、発注製品・数量との整合性の確認を実施しているか	○	○	○	採用
	送り状の改竄の調査を実施しているか	—	—	—	不採用(項目71)に包含)
	毒物混入や汚染、損傷の徴候あるいは偽造等の不正商品がないか、納入資材や研究開発用資材を検査しているか	—	—	—	不採用(他項目の総括的な項目であるため)
	納入資材や研究開発用資材に対するテロ行為等を察知するための試験用資機材を有しているか	○	×	○	不採用(現状では未だその実施が非現実的であるため)
	疑わしい食品を拒絶しているか	—	—	—	不採用(他項目の総括的な項目であるため)
	72) テロ行為等の徴候・形跡の調査・通報体制を構築しているか	○	○	○	採用
保管	汚れや破損のあった製品、返品された製品等の安全な取扱い規定の有無	○	○	×	不採用(テロ等行為の防止に関し、特に大きな効果が期待できないため)
	73) 納入資材や使用中資材を監視しているか	○	○	○	採用
	74) 在庫の紛失や増加その他事態の調査・通報体制を構築しているか	○	○	○	採用
	75) 製品ラベルを安全な場所に保管しているか	○	○	△	採用
	賞味期限切れの製品を適切に廃棄しているか	○	○	×	不採用(テロ等行為の防止に関し、特に大きな効果が期待できないため)
	コンテナや出荷包装、カートン等の再利用を最小化しているか	○	△	×	不採用(テロ等行為の防止に関し、特に大きな効果が期待できないため)

FDA 食品セキュリティ予防措置ガイドライン“食品製造業、加工業および輸送業”編に示されたチェック項目		技術的チェック可能性	現場での受容性 ¹¹	人為的な食品汚染防止/被害最小化の効果の大きさ	絞り込み結果/留意事項等
水道その他供給関係のセキュリティ	76) 空調、水道、電気および冷蔵の管理システムへのアクセス制限を実施しているか	○	○	○	採用
	77) 井戸、給水栓、貯蔵および取扱い施設の安全性を確保しているか	○	○	○	採用
	水道システムやトラックの安全性確認の有無	—	—	—	不採用(項目 77)に包含)
	78) 井戸水を利用している場合、水、及びその関連施設を塩素殺菌する設備を監視しているか	○	○	○	採用
	79) 井戸水を定期および不定期に検査し、検査結果の変化に注意を払っているか	○	○	○	採用
	80) 公共水道の供給に関する安全性等に関する警告に注意を払っているか	○	○	○	採用
	緊急時の飲用水の代替的供給源を把握しているか	○	△	×	不採用(テロ等行為の防止に関し、特に大きな効果が期待できないため)
最終製品	81) 貯蔵倉庫や車両や船舶が適切な安全措置を講じていることを確認しているか	○	○	○	採用
	保管施設、車両および船舶の無作為検査を実施しているか	○	×	○	不採用(現状では未だその実施が非現実的であるため)
	最終製品に対するテロ行為等を察知するための試験用資機材を有しているか	○	×	○	不採用(現状では未だその実施が非現実的であるため)
	82) 鍵つきあるいは封印可能な車両/コンテナを利用しているか	○	△	○	条件付採用(現状では現場の負担が大きいため、今後世界的なテロ等発生状況を鑑みて必要と判断された場合に実施)
	83) 出荷する製品と荷受人を合わせて把握しているか	○	○	○	採用
	84) 積荷の位置を常時確認することが可能か	○	○	△	採用
	85) 荷物の積み込みスケジュールを確立しているか	○	○	△	採用
	最終製品の輸送を追跡監視可能か	—	—	—	不採用(項目 84)に包含)

FDA 食品セキュリティ予防措置ガイドライン“食品製造業、加工業および輸送業”編に示されたチェック項目		技術的チェック可能性	現場での受容性 ¹¹	人為的な食品汚染防止/被害最小化の効果の大きさ	絞り込み結果/留意事項等
	86) 在庫の紛失や増加その他事態の調査・通報体制を構築しているか	○	○	○	採用
	87) 販売担当従業員に偽造等の不正商品に目配りし、何か問題を察知した場合には管理職に通報するようアドバイスをしているか	○	○	○	採用
郵便物/小包	郵便物や小包のセキュリティの確認手続きの有無（郵便仕分け室を食品加工・保管エリアから離れた場所に設置、郵便仕分け室のセキュリティ確保、目視あるいはX線による郵便物/小包の検査など）（効果薄？）	○	△	×	不採用（テロ等行為の防止に関し、特に大きな効果が期待できないため）
コンピューターシステムへのアクセス	88) コンピューター処理制御システムや重要なデータシステムへのアクセスを許可者に制限しているか	○	○	△	採用
	89) 従業員の退職時等におけるコンピューターアクセス権の削除の有無	○	○	△	採用
	90) コンピューターのデータ処理に係る履歴保存の有無	○	○	△	採用
	ウイルス防止システムや重要なコンピューターベースのデータシステムのバックアップ手順の妥当性チェックの有無	○	○	×	不採用（テロ等行為の防止に関し、特に大きな効果が期待できないため）
	コンピューターセキュリティシステムの有効性確認の有無	○	○	×	不採用（テロ等行為の防止に関し、特に大きな効果が期待できないため）

図 2 人為的な食品汚染への対策に関するアンケート調査結果

Q1 現在お勤めの会社における役職と働いている場所についてお聞かせ下さい。(一つだけご回答下さい)

(単一回答)

	回答数	%
1. 管理職(もしくはそれに相当する役職)	87	18.0
2. 従業員	135	28.0
3. 管理職(もしくはそれに相当する役職)	105	21.7
4. 従業員	156	32.3
全体	483	100.0

Q2 あなたは、現在お勤めの会社で、工場勤務の経験はありますか。(一つだけご回答ください。)

(単一回答)

	回答数	%
1. 現在、工場勤務をしている	199	41.2
2. 現在お勤めしていないが、工場勤務をした経験がある	125	25.9
3. 工場勤務をしたことは一度もない	159	32.9
全体	483	100.0

Q3 現在お勤めの会社では、食品汚染対策の手続きや、それに必要となる安全性評価実施の中に、「人為的な食品汚染」に関する観点が含まれていますか。

(単一回答)

※管理職のみに質問

	回答数	%
1. 各工程について人為的な食品汚染に対する安全性評価を実施している	93	48.4
2. 一部工程のみについて人為的な食品汚染に対する安全性評価を実施している	45	23.4
3. 人為的な食品汚染を念頭に置いた安全性評価を実施していない	41	21.4
4. わからない	13	6.8
全体	192	100.0

Q4 現在お勤めの会社では、人為的な食品汚染の脅威、発生への対応策に係る計画がありますか。

(単一回答)

※管理職のみに質問

	回答数	%
1. 通常の食品衛生、不良品の発生等への対応以外に、「人為的な食品汚染」に特化した対応計画がある	46	24.0
2. 「人為的な食品汚染」を想定しているが、通常の食品衛生、不良品の発生時等と同じ計画で対応可能と考えている	97	50.5
3. 人為的な食品汚染を想定していない	38	19.8
4. わからない	11	5.7
全体	192	100.0

- Q5** 現在お勤めの会社では、顧客・取引企業・周辺地域・従事者の家族等を含めた、緊急時対応計画を策定し、関係者に周知徹底していますか。(例：事故等発生時のマスコミ/広報対応マニュアル等)

(単一回答)

※管理職のみに質問

	回答数	%
1. 顧客・取引企業・周辺地域・従事者の家族の全てに周知徹底している	35	18.2
2. 顧客・取引企業・周辺地域・従事者の家族の一部に周知徹底している	103	53.6
3. 顧客・取引企業・周辺地域・従事者の家族のいずれにも周知徹底していない	46	24.0
4. わからない	8	4.2
全体	192	100.0

- Q6** 現在お勤めの会社の工場では、事故に至らない、ヒヤリハット事例を報告・共有する仕組みが構築されていますか。

(単一回答)

※管理職のみに質問

	回答数	%
1. 正規・非正規問わず、全ての従業員について、ヒヤリハット事例を報告・共有する仕組みが構築されている	92	47.9
2. 一部の従業員のみについて、ヒヤリハット事例を報告・共有する仕組みが構築されている	58	30.2
3. ヒヤリハット事例を報告・共有する仕組みが構築されていない	29	15.1
4. (工場のこと)わからない	13	6.8
全体	192	100.0

- Q7** 現在お勤めの会社の工場では、人為的な食品汚染を行わないよう、従事者に対する監督を実施していますか。

(単一回答)

※管理職のみに質問

	回答数	%
1. 全ての工程について実施している	69	35.9
2. 一部の工程について実施している	70	36.5
3. 人為的な食品汚染を想定していない	37	19.3
4. (工場のこと)わからない	16	8.3
全体	192	100.0

- Q8** 現在お勤めの会社の工場では、過去における食品安全を脅かす事故、人為的な食品汚染・犯罪行為等から得られた教訓を、現場での安全対策に反映していますか。

(単一回答)

※管理職のみに質問

	回答数	%
1. 即座に反映する、もしくはその準備がある	94	49.0
2. 月に一回、年に一回など、定期的に反映する、もしくはその準備がある	53	27.6
3. 反映していない	27	14.1
4. (工場のこと)わからない	18	9.4
全体	192	100.0

Q9 現在お勤めの会社の工場では、従事者に対する身元確認を実施していますか。

(単一回答)

	回答数	%
1. 正規・非正規問わず確認を実施している	264	58.8
2. 上記を「全面対応」とした場合、その一部を実施している(“正規従業員のみ確認”など)	82	17.0
3. 身元確認していない	49	10.1
4. (工場のこと)わからない	68	14.1
全体	483	100.0

Q10 現在お勤めの会社の工場では、敷地内に存在する者の所在を把握していますか。

(単一回答)

	回答数	%
1. 全従業員について、いつ、どこにいるかを、リアルタイムで確認できるようになっている	73	15.1
2. 上記を「全面対応」とした場合、その一部を実施している(“一部の従業員についてリアルタイムに把握可能”、“全従業員について事後に把握可能”、など)	238	49.3
3. 現状では、まったく把握ができない	110	22.8
4. (工場のこと)わからない	62	12.8
全体	483	100.0

Q11 現在お勤めの会社の工場では、従事者の特性に応じた明確な識別・認識システムを構築していますか。
(制服や名札、IDバッジ、エリアへのアクセス権限によるカラーコード等)

(単一回答)

	回答数	%
1. 全従業員について構築している	143	29.6
2. 一部の従業員について構築している	107	22.2
3. 構築していない	184	38.1
4. (工場のこと)わからない	49	10.1
全体	483	100.0

Q12 現在お勤めの会社の工場では、暗証番号の変更や鍵の取替えを定期的に行なっていますか。

(単一回答)

	回答数	%
1. 全ての箇所・施設について定期的に行なっている	40	8.3
2. 上記を「全面対応」とした場合、その一部を実施している(“全箇所・施設について不定期”、“一部の箇所・施設について定期的”、など)	185	28.0
3. 行ってない	239	49.5
4. (工場のこと)わからない	69	14.3
全体	483	100.0

Q13 現在お勤めの会社の工場では、持ち込む私物を制限していますか。

(単一回答)

		回答数	%
1. 制限しており、チェックも毎日する	=====	111	23.0
2. 制限しているが、チェックは毎日ではない	=====	192	39.8
3. 制限していない、制限していてもチェックを行うことはない	=====	126	26.1
4. (工場のこと)わからない	=====	54	11.2
全体		483	100.0

Q14 現在お勤めの会社の工場では、食品取扱い/保管エリア/ロッカールームへのアクセスを制限していますか。

(単一回答)

		回答数	%
1. 常に、事前に定めた通りに、訪問者や外部業者ごとの食品取扱い/保管エリア/ロッカールームへのアクセス制限を実施している	=====	138	28.6
2. 上記を「全面対応」とした場合、その一部を実施している(特に、現場の判断で、事前に定めていないエリアへのアクセスを許可することがある)など	=====	158	32.7
3. 実施していない	=====	108	22.4
4. 訪問者、外部業者の出入りはない	=====	28	5.8
5. (工場のこと)わからない	=====	51	10.6
全体		483	100.0

Q15 現在お勤めの会社の工場では、フェンス等による敷地へのアクセス制御を行なっていますか。

(単一回答)

		回答数	%
1. 外部から人が侵入できないような完全な措置をとっている	=====	121	25.1
2. 敷地へのアクセス制御を行っているが、夜間など人目を盗むなどすれば、外部からの侵入は不可能ではない	=====	248	51.3
3. 全く行っていない	=====	65	13.5
4. (工場のこと)わからない	=====	49	10.1
全体		483	100.0

Q16 現在お勤めの会社の工場では、ドア、窓、屋根口/ハッチ、通気口、換気システム、ユーティリティルーム、製氷・貯蔵室、屋根裏、トレーラー、タンクローリー、タンク等、工場内部と外部との結節点について、安全を確認していますか。

(単一回答)

		回答数	%
1. 工場内部と外部を繋ぐ全ての箇所について安全を確認している	=====	167	34.6
2. 工場内部と外部を繋ぐ一部の箇所について安全を確認している	=====	198	41.0
3. 全く確認していない	=====	51	10.6
4. (工場のこと)わからない	=====	67	13.9
全体		483	100.0

Q17 現在お勤めの会社の工場では、全ての鍵を会社(もしくは管理職)が管理していますか。

(単一回答)

	回答数	%
1. 全ての鍵を会社(もしくは管理職)が管理している	276	57.1
2. 一部の鍵のみ会社(もしくは管理職)が管理している	140	29.0
3. 全く管理していない	9	1.9
4. (工場のことは)わからない	58	12.0
全体	483	100.0

Q18 現在お勤めの会社の工場では、敷地における警備員の巡回やビデオ監視を行なっていますか。

(単一回答)

	回答数	%
1. 全区域において警備員の巡回やビデオ監視を行なっている	89	18.4
2. 一部危険性が高いと思われる箇所のみ警備員の巡回やビデオ監視を行なっている	176	36.4
3. 監視が必要であると認識しているが、監視していない	100	20.7
4. 簡単に全てが見渡せる小規模な敷地であるため、監視は必要でない	67	13.9
5. (工場のことは)わからない	51	10.6
全体	483	100.0

Q19 現在お勤めの会社の工場では、研究所(検査・試験室)や有害物質等の保管エリアへのアクセスを制限していますか。

(単一回答)

	回答数	%
1. 出入り可能な従業員を決め、かつ鍵等により物理的に制限している	142	29.4
2. 出入り可能な従業員を決めているのみ、もしくは鍵等により物理的に制限しているのみ	172	35.6
3. 制限していない	51	10.6
4. 研究所(検査・試験室)がない、有害物質等を扱っていない	70	14.5
5. (工場のことは)わからない	48	9.9
全体	483	100.0

Q20 現在お勤めの会社の工場では、検査用の試薬や、有害物質等の在庫量を、検査やメンテナンス等に用いる分のみに限定していますか。(余った不要な分を廃棄していますか。)

(単一回答)

	回答数	%
1. 限定しており、利用後に余った場合は適切に廃棄している	154	31.9
2. 限定しているが、利用後に余った場合は後で使うため保存しておく	145	30.0
3. 限定していない	30	6.2
4. 検査用の試薬や、有害物質等を扱っていない	85	17.6
5. (工場のことは)わからない	69	14.3
全体	483	100.0

Q21 現在お勤めの会社の工場では、検査用の試薬や、有毒物質等を安全に管理していますか。

(単一回答)

	回答数	%
1. 鍵付きの保管庫等安全な場所に管理し、使用やその量等に関する履歴を残すようにしている	208	43.1
2. 上記を「全面対応」とした場合、その一部を実施している(“鍵付きの保管庫等安全な場所に管理しているが、使用やその量等に関する履歴は残していない”など)	107	22.2
3. 安全に管理していない	19	3.9
4. 検査用の試薬や、有毒物質等を扱っていない	92	19.0
5. (工場のこと)わからない	57	11.8
全体	483	100.0

Q22 現在お勤めの会社の工場では、敷地内にある検査用の試薬や、有毒物質等の所在を把握、監視していますか。

(単一回答)

	回答数	%
1. 全ての検査用の試薬や有毒物質等について、その所在を常に把握、監視している	193	40.0
2. 上記を「全面対応」とした場合、その一部を実施している(“一部の物質等について実施”など)	122	25.3
3. 把握、監視していない	16	3.3
4. 検査用の試薬や、有毒物質等を扱っていない	94	19.5
5. (工場のこと)わからない	58	12.0
全体	483	100.0

Q23 現在お勤めの会社の工場では、供給業者、運送業者、最終製品の流通に利用する貯蔵倉庫や車両や船舶等が、適切な食品セキュリティ措置を講じていることを確認していますか。

(単一回答)

	回答数	%
1. 全てについて確認している	144	29.8
2. 一部についてのみ確認している	193	40.0
3. 確認していない	78	16.1
4. (工場のこと)わからない	68	14.1
全体	483	100.0

Q24 現在お勤めの会社の工場では、受領前に、納入資材のラベルや包装の形態を確認していますか。

(単一回答)

	回答数	%
1. 全てのものについて確認している	257	53.2
2. 一部のもののみについて確認している	140	29.0
3. 確認していない	30	6.2
4. (工場のこと)わからない	56	11.6
全体	483	100.0

Q25 現在お勤めの会社の工場では、納入資材、保管中の在庫、最終製品の紛失や増加、その他の事態の調査・通報体制を構築していますか。

(単一回答)

	回答数	%
1. 調査と通報の双方について体制を構築している	208	43.1
2. 調査もしくは通報のいずれかについて体制を構築している	153	31.7
3. 構築していない	67	13.9
4. (工場のことは)わからない	55	11.4
全体	483	100.0

Q26 現在お勤めの会社の工場では、保管中の納入資材や使用中資材を監視していますか。

(単一回答)

	回答数	%
1. ほぼ全ての資材を監視している	190	39.3
2. 一部監視している	147	30.4
3. 監視していない	89	18.4
4. (工場のことは)わからない	57	11.8
全体	483	100.0

Q27 現在お勤めの会社の工場では、井戸、給水栓、貯蔵施設等、使用する水に関する安全性を確保していますか。

(単一回答)

	回答数	%
1. アクセス可能な従業員を決め、かつ施設には鍵を掛けるなど物理的な安全措施を講じている	186	38.5
2. 上記を「全面対応」とした場合、その一部を実施している(「アクセス可能な従業員は決めているが、施設に物理的な安全措施は講じていない」など)	158	32.7
3. 確保していない	69	14.3
4. (工場のことは)わからない	70	14.5
全体	483	100.0

Q28 現在お勤めの会社におけるあなたの勤続年数をお聞かせ下さい。(一つだけご回答下さい)

(単一回答)

	回答数	%
1. 5年未満	139	28.8
2. 5年～10年未満	135	28.0
3. 10年～15年未満	92	19.0
4. 15年～20年未満	57	11.8
5. 20年以上	57	11.8
6. わからない	3	0.6
全体	483	100.0

表 2 5 TAPA (Transported Asset Protection Association) FSR 2007 Scoring Matrix Checklist) ¹²

Area Concern		Point Value	A	B	C
1. Perimeter Security 周囲セキュリティ 1.1 CCTV System CCTVシステム	1.1.1 CCTV external coverage of shipping and receiving yard, including entry / exit point, to cover movement of vehicles and individuals. 1.1.1 車両及び個人の動きを監視するために、出口/入口なども含めた荷積及び荷受作業場をCCTV監視システムで外部から監視する。	<p>[全面的に対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Shipping and receiving yard covered by exterior color cameras so that the movement of vehicles and individuals can be viewed. CCTV is able to view all inbound and outbound traffic ensuring all vehicles and individuals are identifiable. <p>・ カラー外部監視カメラによって荷積及び荷受作業場を監視し、車両及び個人の動きを監視することができる。</p> <p>・ CCTV監視カメラは、到着・出発の往來のすべてを観察でき、すべての車両及び個人を確実に識別できる。</p> <p>[一部対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Shipping and receiving yard covered by exterior B&W cameras so that the movement of vehicles and individuals can be viewed. CCTV is able to view all inbound and outbound traffic ensuring all vehicles and individuals are identifiable. <p>・ 白黒の外部監視カメラによって荷積及び荷受作業場を監視し、車両及び個人の動きを監視することができる。</p> <p>・ CCTV監視カメラは、到着・出発の往來のすべてを観察でき、すべての車両及び個人を確実に識別できる。</p> <p>[対応していない]</p> <ul style="list-style-type: none"> No exterior camera coverage of shipping and receiving yard area. <p>・ 荷積及び荷受作業場を監視する外部監視カメラがない。</p>	✓ M		
	1.1.2 CCTV coverage of all external dock area. 1.1.2 外部ドック区域すべてをCCTV監視システムで監視する。	<p>[全面的に対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Dock areas covered via color exterior cameras. Cameras mounted to be able to view all activities around external dock areas. All vehicles and individuals clearly identifiable. All views clear at all times; Parked trucks do not block CCTV view. <p>・ ドッグ区域は、カラー外部監視カメラで監視されている。</p> <p>・ ドッグ外部区域周辺の活動すべてを観察できるカメラが搭載されている。</p> <p>・ すべての車両及び個人を確実に識別できる。</p> <p>・ 通常監視カメラの視界がはっきり映し出されている; 駐車されたトラックは、CCTV監視カメラを妨げていない。</p> <p>[一部対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Dock areas covered via B&W or color exterior cameras. Cameras mounted to be able to view all activities around external dock area. Vehicles and individuals visible in most cases. Views not clear at all times. <p>・ ドッグ区域は、白黒又はカラー外部監視カメラで監視されている。</p> <p>・ ドッグ外部区域周辺の活動すべてを観察できるカメラが搭載されている。</p> <p>・ ほとんどの場合、車両及び個人をはっきり見ることができる。</p> <p>・ CCTV監視カメラの画像が鮮明でない場合もある。</p> <p>[対応していない]</p> <ul style="list-style-type: none"> No exterior camera coverage of dock areas. <p>・ ドック区域には外部監視カメラがない。</p>	✓ M	✓ M	✓ M

¹²原文 (英文) は TAPA Asia ウェブサイトに公表されている

[http://www.tapaonline.org/docs/2007%20TAPA%20FSR_Scoring%20Matrix_Final.pdf]. 現在は若干の修正を経た 2009 年版がリリースされている。日本語訳は SGS ジャパン教育訓練部が研修に使用する為に翻訳したものであり、SGS ジャパンは研修以外の用途のために使用された場合の翻訳内容の責任について負うことはできない。

Area Concern		Point Value	A	B	C
	<p>1.1.3 CCTV system able to view all exterior sides of the facility.</p> <p>1.1.3 CCTV監視システムは、施設のあらゆる外部側面を監視できる。</p>	<p>[全面的に対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Color (or "day-night") camera system in place covering all exterior sides of facility. All vehicles and individuals clearly identifiable. All views clear at all times. <p>・ カラー又はデイ/ナイト(日中/夜間)機能付き外部監視カメラは適切に作動し、施設の外部全側面を監視している。</p> <p>・ すべての車両及び個人を確実に識別できる。</p> <p>・ 常時全方向をはっきり映し出している。</p> <p>[一部対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Exterior camera system in place covering all exterior sides of facility. Vehicles and individuals visible in most cases. <p>・ 外部監視カメラシステムは適切に作動し、施設の外部全側面を監視している。</p> <p>・ ほとんどの場合、車両及び個人をはっきりと見ることができる。</p> <p>[対応していない]</p> <ul style="list-style-type: none"> No exterior camera system. <p>・ 外部監視カメラがない。</p>	✓ M		
1.2 Lighting 照明	<p>1.2.1 Flood lighting of enclosed loading / unloading areas.</p> <p>1.2.1 囲いのある荷積及び荷受区域は照明で照らすこと。</p>	<p>[全面的に対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Lighting provides daylight conditions. All vehicles and individual clearly identifiable. <p>・ 照明は日中並の明るさを維持する。</p> <p>・ すべての車両及び個人を確実に識別できる。</p> <p>[一部対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Lighting adequate in loading and unloading areas. Vehicles and individual visible in most cases. <p>・ 照明は荷積及び荷受区域を適切に照らす。</p> <p>・ ほとんどの場合、車両及び個人をはっきりと見ることができる。</p> <p>[対応していない]</p> <ul style="list-style-type: none"> Lighting does not illuminate loading and unloading areas. Vehicles and individuals cannot be identified. <p>・ 照明は荷積及び荷受区域を照らさない。</p> <p>・ 車両及び個人を識別できない。</p>	✓	✓	
	<p>1.2.2 Dock Doors illuminated externally at night.</p> <p>1.2.2 夜間、ドックの戸口は外部照明で照らす。</p>	<p>[全面的に対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> All dock doors fully illuminated. Documented maintenance program in place. <p>・ すべてのドックの戸口に十分な照明がなされている。</p> <p>・ 保守プログラムが文書化されている。</p> <p>[一部対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Most dock doors illuminated but some fixtures not operating. No documented maintenance program in place. <p>・ 大部分のドックの戸口が照明されているが、中には作動しない照明もある。</p> <p>・ 保守プログラムが文書化されていない。</p> <p>[対応していない]</p> <ul style="list-style-type: none"> Lighting does not illuminate the dock doors. <p>・ 照明はドックの戸口を照らさない。</p>	✓	✓	✓

Area Concern		Point Value	A	B	C
	<p>1.2.3 External and internal lighting levels that support high quality CCTV images and recording.</p> <p>1.2.3 外部・内部照明は、質の高いCCTV監視システム画像を送信し、記録できるのに役立つようなレベルでなければならない。</p>	<p>[全面的に対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> External and internal lighting levels are such that CCTV images and recordings are visible and clear. All vehicles and individuals are clearly identifiable. Maintenance program in place and documented. Interior lights kept on 7x24 x366 or activated by alarm or motion detection providing immediate illumination. <p>・外部・内部照明は、CCTV監視システム画像が見えて、録画可能でありかつ充分鮮明なレベルである。</p> <p>・すべての車両及び個人を確実に識別できる。</p> <p>・保守プログラムが適切に文書化され、実施されている。</p> <p>・内部照明は、常時付いているか又は警報装置若しくはモーションセンサーによって即座に照らす事が可能である。</p> <p>[一部対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> External and internal lighting levels are such that CCTV images and recordings are visible and clear. Difficult in some areas to positively identify vehicles and individuals. Interior lights kept on 7x24 x366 or activated by alarm or motion detection providing immediate illumination. <p>・外部・内部照明は、CCTV監視システム画像が見えて、録画可能でありかつ充分鮮明なレベルである。</p> <p>・いくつかの区域では、車両及び個人を明確に識別することが困難な場合もある。</p> <p>・内部照明は、常時付いているか又は警報装置若しくはモーションセンサーによって即座に照らす事が可能である。</p> <p>[対応していない]</p> <ul style="list-style-type: none"> External and internal lighting levels are such that CCTV images and recordings aren't visible and clear. <p>・外部・内部照明は、CCTV監視システム画像及び録画が見ることができない/鮮明でないレベルである。</p>	✓	✓	✓
1.3 Perimeter Alarm Detection 周囲の警報装置・探知機	<p>1.3.1 All facility external doors alarmed and linked to main alarm system.</p> <p>1.3.1 施設の外部戸口にはすべて警報装置を取り付けて、警報システムの本体に連動させる。</p>	<p>[全面的に対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Alarm system is in place monitoring all perimeter openings. Alarm system in place and alarm on power failure/loss. Emergency exits alarmed at all times with audible alarms and tied into security monitoring vendor. Alarm contact wire runs are in supervised configuration (trouble signal on device failure). <p>・周囲の開口部すべてを監視する警報装置が適切に設置されている。</p> <p>・電力異常/停電の際は、アラームが鳴る。</p> <p>・非常口に警報装置が設置され、いつでもアラームを鳴らすことが可能で、警備会社に接続されている。</p> <p>・警報装置のトリガー線は監視付きの機器構成で配線している(機器が故障した際にはトラブル信号が発信される)。</p> <p>[一部対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows or other warehouse openings protected by physical means and alarm system. Alarm system that specifically covers those openings to detect entry. <p>・倉庫の窓又は他の開口部は、物理的手段(鉄網の棒/網又は窃盗に開けにくい他の材料)によって保護されている。</p> <p>・アラームシステムにより開口部の侵入を探知している。</p>	✓ M	✓ M	✓ M

Area Concern		Point Value	A	B	C
		<p>[対応していない]</p> <ul style="list-style-type: none"> No alarm system in place monitoring perimeter openings. Alarm system is in place but system access controls are inadequate or the system does not alarm on power failure/loss. <p>・ 周囲の開口部を監視する警報装置が設置されていない。</p> <p>・ 警報装置は設置されているが、システムへの接近管理は不適切であるか、あるいは、電力異常/停電の際アラームは鳴らない。</p>			
1.4 Perimeter windows, doors & other openings 周囲の窓、戸口、及び他の開口部	<p>1.4.1 Any windows or other openings in warehouse walls and roof secured.</p> <p>1.4.1 倉庫の壁/屋根の窓又は他の開口部はすべて保護しなければならない。</p>	<p>[全面的に対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows or other warehouse openings protected by physical means (bars, mesh or any other material that would harden opening to burglary). <p><or></p> <ul style="list-style-type: none"> Alarm system that specifically covers those openings to detect entry. <p>・ 倉庫の窓又は他の開口部は、物理的手段(鉄鋼の棒/網又は窃盗に開けにくい他の材料)によって保護されている。</p> <p><又は></p> <ul style="list-style-type: none"> アラームシステムにより開口部の侵入を感知している。 	✓ M	✓ M	✓
		<p>[一部対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> No alarm system in place monitoring perimeter openings. Alarm system is in place but system access controls are inadequate or the system does not alarm on power failure/loss. <p>・ 周囲の開口部を監視する警報装置が設置されていない。</p> <p>・ 警報装置は設置されているが、システムへの接近管理は不適切であるか、あるいは、電力異常/停電の際アラームは鳴らない。</p>			
		<p>[対応していない]</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows or other warehouse openings not protected through physical means or via alarm system. <p>・ 倉庫の窓又は他の開口部は、物理的手段又は警報装置によって保護されていない。</p>			
	<p>1.4.2 Ground floor warehouse windows protected by anti-ram posts or other physical barrier. (If no windows, not applicable, mark "X" on audit form)</p> <p>1.4.2 倉庫一階の窓は、防犯バー又は他の物理的障壁によって保護する。(窓が一切ない場合は適用されないので審査表に"×"印をつける)</p>	<p>[全面的に対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Ground floor warehouse windows protected by anti-ram posts. <p>・ 倉庫一階の窓は、Anti Ram Postによって保護されている。</p>	✓		
		<p>[一部対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Ground floor warehouse windows protected by physical barrier other than anti-ram posts. <p>・ 倉庫一階の窓は、Anti Ram Post以外の他の物理的障壁によって保護されている。</p>			
		<p>[対応していない]</p> <ul style="list-style-type: none"> Ground floor windows not protected by any physical barrier. <p>・ 倉庫一階の窓は、物理的障壁によって保護されていない。</p>			

Area Concern	Point Value	A	B	C
<p>1.4.3 Dock doors of sufficient strength or design to prevent or delay forced entry by use of portable hand tools or ramming by vehicles</p> <p>1.4.3 ドックの戸口は、小型手動工具を用いて、又は車両を激突させて押し入る(ラミング)事を防ぐ又は遅らせるような、充分な強度のものとするか、あるいは、そのような設計にする。</p>	<p>[全面的に対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Steel dock doors and frames of significant strength to deter entry. Dock door designs prevent ramming. Dock door designs delay or prevent other forced entry. <p>・ドックの戸口及び枠は、鋼鉄製で、侵入を阻止するのに充分な強度がある。</p> <p>・ドックの戸口は、車体が激突するのを防ぐような設計である。</p> <p>・ドックの戸口は、その他の侵入を遅延させるか又は防ぐような設計である。</p> <p>[一部対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Dock doors of significant strength to deter entry. <p>・ドックの戸口は、侵入を阻止するほど充分な強度がある。</p> <p>[対応していない]</p> <ul style="list-style-type: none"> Dock doors can be easily penetrated. <p>・ドックの戸口は、容易に突破可能である。</p>	✓		
<p>1.4.4 Reinforced exit doors from warehouse (steel doors and frames or suitable alternative)</p> <p>1.4.4 倉庫からの出入り口ドアを補強する(鋼鉄製ドアで枠付き又は適切な代替物)</p>	<p>[全面的に対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Warehouse pedestrian doors and frames constructed of reinforced steel. Latch plates/deadbolt used when applicable. Hinges on the inside. <p>・倉庫の勝手口及び枠は強化鉄鋼でできている。</p> <p>・可能な場合は、ラッチプレート/デッドボルトを使う。</p> <p>・内側に蝶番がある。</p> <p>[一部対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Warehouse pedestrian doors cannot be easily penetrated, hinges on outside are pinned or spot welded. Latch plates used when applicable. <p>・倉庫の勝手口は容易に突破できず、外側にある蝶番は留めてあるか又はスポット溶接で接合されている。</p> <p>・可能な場合は、ラッチプレートを使う。</p> <p>[対応していない]</p> <ul style="list-style-type: none"> Warehouse pedestrian doors can be easily penetrated. Hinge pins, if outside, are not spot welded or pinned with tamper proof screws. <p>・倉庫の勝手口は容易に突破可能である。</p> <p>・蝶番の留め金が建物の外側にある場合に、スポット溶接によって接合されていないか、又は、不正開錠防止ネジで留められていない。</p>	✓	✓	
<p>1.4.5 Exterior walls must be designed to resist penetration by removing building fabric, cutting or ramming by vehicle</p> <p>1.4.5 建材を排除するか、切断するか、又は車両を突撃させて侵入されないように外壁を設計する。</p>	<p>[全面的に対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Exterior and interior multi-tenant walls constructed/designed to prevent penetration. (Example: brick, block, tilt up concrete slab). Alarmed to detect penetration. <p>・マルチテナントの外壁及び内壁は、侵入を防ぐように建設された/設計された(例:煉瓦、ブロック、チルトアップ工法によるコンクリートスラブ)。</p> <p>・侵入を感知する警報装置が取り付けられている。</p>	✓	✓	

Area Concern		Point Value	A	B	C
		<p>[一部対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Exterior and interior multi-tenant walls constructed/ designed to prevent penetration. (Example: brick, block, tilt up concrete slab). <p><or></p> <ul style="list-style-type: none"> Exterior and interior multi-tenant walls can be easily penetrated but alarms installed to detect penetration. <p>・マルチテナントの外壁及び内壁は、侵入を防ぐように建設された/設計された(例:煉瓦、ブロック、チルトアップ工法によるコンクリートスラブ)。</p> <p><又は></p> <ul style="list-style-type: none"> マルチテナントの外壁及び内壁は容易に侵入されやすいが、侵入を感知する警報装置が取り付けられている。 			
		<p>[対応していない]</p> <ul style="list-style-type: none"> Exterior and interior multi-tenant walls can be easily penetrated. <p>・マルチテナントの外壁及び内壁は容易に侵入されやすい。</p>			
2. Access Control – Office Areas 事務所の出入り口	2.1.1 Visitor office access points controlled	<p>[全面的に対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Access at visitor office entry point(s) securely controlled and monitored using card access and CCTV outside office hours. Access at visitor office entry point(s) controlled by a Guard or Receptionist during normal business hours. Duress (panic) alarm installed. <p>・通常の業務時間中は、訪問者受付事務所の出入口は警備員又は受付によって管理されている。</p> <p>・業務時間外には、訪問者の事務所の出入はアクセスカードによって適切に管理され、CCTV監視カメラで監視されている。</p> <p>・防犯ベル(パニックボタン)を設置。</p>	✓		
2.1 Access Control – Office Areas 区域(アクセス)管理 — 事務所	2.1.1 訪問者が入域するポイントを管理する	<p>[一部対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> Access at visitor office entry point(s) securely controlled and monitored using card access and CCTV. <p>・訪問者の事務所の出入はアクセスカードによって適切に管理され、CCTV監視カメラで監視されている。</p>			
		<p>[対応していない]</p> <ul style="list-style-type: none"> Access at visitor office entry point(s) not controlled. <p>・訪問者の事務所への出入は管理されていない。</p>			
	2.1.2 All office access points controlled	<p>[全面的に対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> All access points controlled and monitored through electronic access control device. All access points covered by CCTV. <p>・すべての出入口は電子的な入域管理装置によって管理している。</p> <p>・すべての入域ポイントはCCTV監視カメラによって監視されている。</p>	✓ M	✓ M	
	2.1.2 事務所の入域ポイントはすべて管理する	<p>[一部対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> All access points controlled through access control device. Missing CCTV. <p>・すべての出入口は入域管理装置によって管理している。</p> <p>・CCTV監視システムが設置されていない。</p>			